

みずべ たちの  
水辺を楽しむために

# 水辺の生きもの図鑑 ～魚類など～

鹿児島市では、川の上流ではタカハヤ、上流から中流にかけてオイカワ、中流から下流にかけてカワムツがよく見られます。流れがおだやかな川の中流や下流ではコイなどが見られるほか、汽水域<sup>\*</sup>ではボラなどが見られます。また、サワガニやヒラテテナガエビなども見られます。

※淡水(塩分をほとんど含まない水)と海水が混じりあった、塩分の少ない水。



**タカハヤ**

冷たい水を好むため、上流に多い。体はヌルヌルしている。



**オイカワ**

明るい瀬に多い。産卵期のオスはきれいな青、赤、黄色に色づく。



**カワムツ**

濃い藍色の線が特徴。産卵期のオスは、鮮やかな朱色になる。



**サワガニ**

川の上流にすみ、県内では青白色から赤色までいろいろ見られる。



**コイ**

食用のほか、観賞用のニシキゴイも有名。コイには幼魚の頃からヒゲがある。



**アユ**

清流の魚として、古くから親しまれている。甲突川のアユ釣りが有名。



**メダカ**

主に水田や水路など、止水域に生息する。



**ヒラテテナガエビ**

ハサミがやや太く、早瀬など流れのあるところにすむ。



**ボラ**

汽水域に多く、市街地の川でも見られる。水面を高くジャンプする。



**ドンコ**

水草の中や石の下に隠れて、小魚や水生昆虫などを捕らえる。



**ゴクラクハゼ**

下流の汽水域に多い。川底が砂地のところを好む。



**ニホンシガメ**

昔から親しまれてきたが、最近、数が減っていると情報あり。

# 水辺の生きもの図鑑 ～鳥類～

鹿児島市では、セキレイ類やカワラヒワ、スズメ、キジバト、カラス類などが市街地でよく見られ、川幅の広い甲突川や永田川では、サギ類を中心に多くの鳥類が見られます。特に永田川はセイタカヨシなどの植物が大きな群落をつくり、鳥たちが安心して休める空間となっています。



**キセキレイ**

水辺にすむセキレイ類で、黄色い腹が特徴。



**ハクセキレイ**

冬に見られ、道路の街路樹で休むことが多い。



**カワラヒワ**

スズメとよく似ているため間違われるが、カワラヒワは翼に黄色い帯がある。



**ムクドリ**

くちばしと足が黄色い。数万羽の群れをつくることもある。



**カワセミ**

市街地の川でも見られることがある。水中にダイビングし、魚を捕らえる。



**トビ**

主に動物の死体を食べる。カラスに追いかけていることが多い。



**アオサギ**

大きいためツルと間違われるが、アオサギは首を曲げて飛ぶ。



**コサギ**

川や田んぼでよく見られる。くちばしが黒く、足先の黄色が特徴。



**カルガモ**

川や水田で見られ、中州や竹林など人目につかない所で子どもを育てる。



**ヒドリガモ**

鹿児島県では冬に見られる。数百羽以上の大きな群れをつくる。



**バン**

口ばし付近の赤と黄色が目立つ。植物の多い川や池に生息する。



**オオバン**

体全体がまっ黒でくちばしと額が白いが特徴。